

## 今話題の

### セーフティネット貸付について

今、銀行がセーフティネット貸付で動いていると思います。中小企業庁と金融庁が、一体となつての、中小・小規模企業の資金繰り対策のための制度です。

この経済状況で、金融機関が不良債権（投資信託等）を抱えているために、金融機関の資金繰りで、中小企業の資金繰りに困らないようにとの処置です。

また、この緊急保証制度は、信用保証協会の100%補償であるために、金融機関がリスクを負わない制度でもあります。本来は借入金返済のための借入は認められないものがありますが、金融機関が積極的に動いているのは、そのような事情があるためです。

また、金融機関が条件緩和を行っても、不良債権にならない取扱いが拡充されました。条件緩和とは、金利の引き下げ、返済期限の延長、債権放棄など、借り手にとって有利となる取り決めをしてもらうことで、不良債権とならないためには、以前は、中小企業に経営改善計画の作成を要請し、計画期間中一定以上の金利を確保する必要があったのですが、今後は、経営改善の見込みがあれば、不良債権とは取り扱われないようになりました。従って、経営が健全化するまでの期間が大幅に延長されましたし、計画を作っていない場合でも、今後の経営改善の見通しがあれば、計画がある場合と同じように取り扱われます。計画の進捗が遅れていても、その原因を分析し、今後の改善が見通せるならば、計画通りに進んでいると扱われます。昨年、いらっしゃったお客様で、以前の税理士さんの間違いを、所長が税務署と打ち合わせをして、きちんと訂正することにより、資金が回るようになったお客様がいらっしゃいます。この経済状況で、借り換えもスムーズに行きそうです。一生懸命やっていると、経済状況により、いろいろな風が吹きます。みなさん条件は同じです。事務所はご支援させていただきます。よろしくお願いいたします



### 事務所入り口です

事務所の入り口に小さな胡蝶蘭を置きました。赤平のオーキッドセンターで咲かせたものです。いつも心を和ませてくれます。

## 今月の格言

「成功する人と、そうでない人の差は紙一重だ。成功しない人に熱意がないわけではない。違いは、粘り強さと忍耐力だ。失敗する人は、壁に行き当たったときに、体裁のいい口実をみつけて努力をやめてしまう。」  
(稲盛 和夫)

五十歩百歩という言葉がありますが、通説と違った解釈をすれば、五十歩と百歩の間には大きな違いがあるともいえます。新製品開発であれ販路開拓であれ、目標を達成できる人と達成できない人との違いは、困難な状況に遭遇して先が見えないときに、五十歩でやめてしまうか、あきらめずに百歩まで粘るかにあるといってもよいでしょう。「粘り強さと忍耐力」を持ち続けて、もう一步努力する熱意がブレークスルーを引き起こすのです。

国民生活金融公庫	普通貸付金利	2.40%
	経営改善貸付	2.10%
平成21年2月23日より		



旅立ちの3月です  
皆様の所でも、新しい旅立ちがあると思います。新しい旅立ちに幸せを！！

### 《編集後記》

3月は旅立ちの季節です。事務所は、新入職員を2名採用させていただきました。二人とも、大学新卒です。人生の最初の試練を、出来るだけ事務所でよかったと言われるような人育てをしていきたいのですが、出来るでしょうか。出来る、出来ないではなく、やる、やらないではないかと思うでしょうね。私もまだまだですね。経済状況の変動にうまく対応していただきたくて、今月のマンスリーのテーマを決めました。激動の時代を後から振り返ったら楽しい思い出となるように、頑張りましょう